

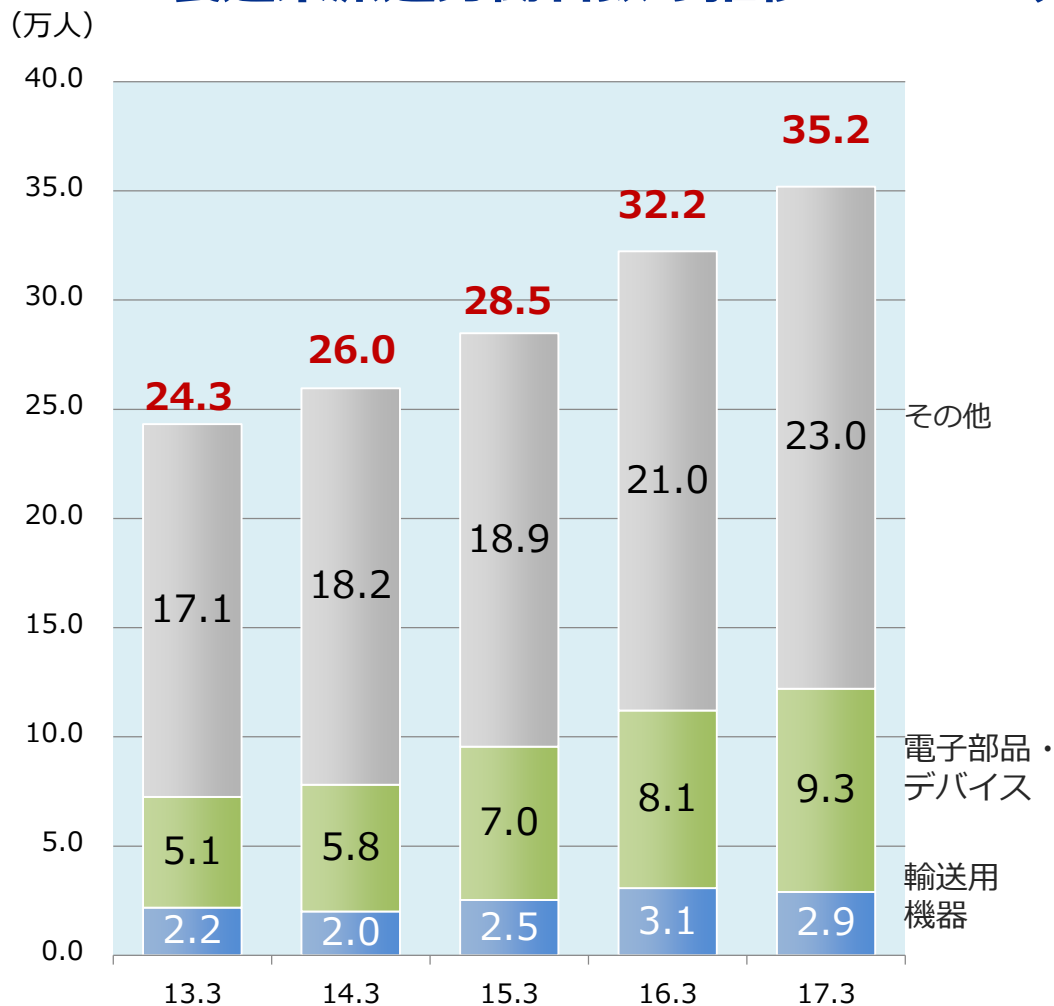
2018年3月期 決算説明会資料

2018年5月30日

 **日総工産株式会社**

東証1部 コード6569

製造系派遣労働者数の推移



出所) 経済産業省「企業活動基本調査」より

今後も製造系派遣労働者が増加する背景

社会情勢

- 同一労働同一賃金
- 働き方改革
- 若年労働人口の減少
- ダイバーシティ推進

メーカーニーズ

- 直接雇用から派遣会社の積極活用へ転換

派遣労働者ニーズ

- 安定した雇用
- キャリアアップのためのサポート

(単位：百万円)

	17.3期	18.3期	
	金額	金額	増減率 (%)
売上高	53,533	59,208	+10.6
売上総利益	8,960	10,373	+15.8
総利益率 (%)	16.7	17.5	+0.8pt.
営業利益	860	1,800	+109.3
営業利益率 (%)	1.6	3.0	+1.4pt.
経常利益	833	1,781	+113.8
経常利益率 (%)	1.6	3.0	+1.4pt.
親会社株主に帰属する 当期純利益	491	1,014	+106.6

連結貸借対照表



(単位：百万円,%)

	17.3末		18.3末		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産	10,463	60.1	13,058	65.7	2,594
現金及び預金	3,369	19.4	5,283	26.6	1,914
受取手形及び売掛金	6,212	35.7	6,791	34.2	579
固定資産	6,946	39.9	6,823	34.3	▲123
有形固定資産	5,063	29.1	4,994	25.1	▲68
無形固定資産	318	1.8	380	1.9	61
投資その他の資産	1,565	9.0	1,448	7.3	▲116
資産合計	17,410	100.0	19,881	100.0	2,470
流動負債	9,034	51.9	8,206	41.3	▲827
短期借入金（※）	3,371	19.4	501	2.5	▲2,869
未払費用	3,508	20.2	4,331	21.8	822
固定負債	3,773	21.7	2,356	11.9	▲1,416
長期借入金	3,347	19.2	1,883	9.5	▲1,464
負債合計	12,808	73.6	10,563	53.1	▲2,244
株主資本	4,392	25.2	9,130	45.9	4,737
純資産合計	4,601	26.4	9,317	46.9	4,715
負債純資産合計	17,410	100.0	19,881	100.0	2,470

Point

①増資による増減

- 現金及び預金の増加
- 長期借入金の一部返済
- 株主資本の増加

②事業拡大による増減

- 売上債権の増加
- 人件費増による未払費用等の増加
- 短期借入金の減少
- 株主資本の増加

③全体

- 流動資産の増加により総資産が前期比で14.2%増加
- 借入金の圧縮により負債が17.5%減少
- 株主資本の増加により純資産が102.5%増加
- 結果、自己資本比率は46.9%

※1年内に返済予定の長期借入金を含む

連結キャッシュ・フロー計算書



(単位：百万円)

	17.3期	18.3期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,303	2,751	1,448
投資活動によるキャッシュ・フロー	236	▲102	▲338
財務活動によるキャッシュ・フロー	254	▲735	▲990
現金及び現金同等物の増減額	1,794	1,914	120
現金及び現金同等物の期首残高	1,575	3,369	1,794
現金及び現金同等物の期末残高	3,369	5,283	1,914

Point

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益、減価償却費及び未払費用の増加等による収入が事業拡大による売上債権の増加等による支出を吸収

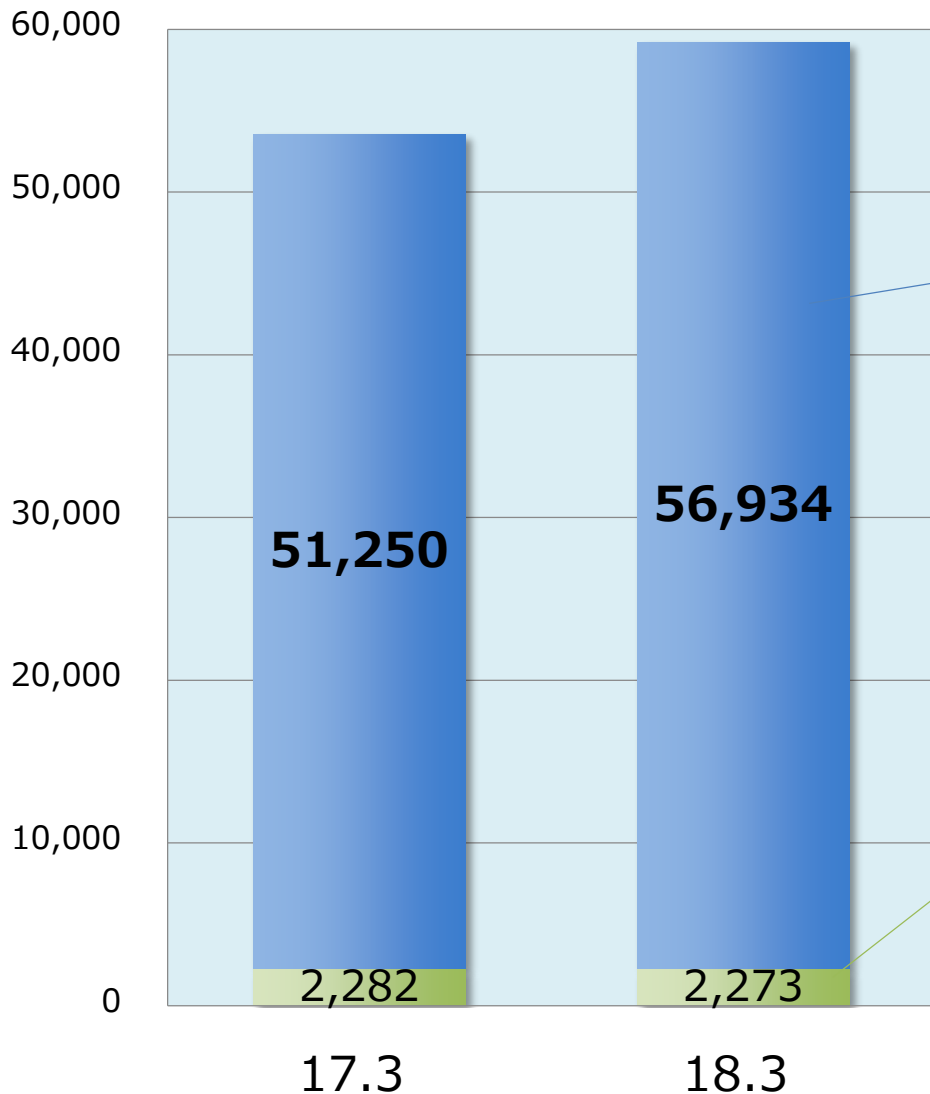
② 投資活動によるキャッシュ・フロー

研修施設及び採用サイトリニューアル投資の増加

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

増資による資金調達を上回る有利子負債の返済

(百万円)



製造系人材サービス事業が伸長

総合人材サービス事業

- 重要顧客における在籍シェア拡大
- 契約単価の改善
- 技能社員の増員

その他の事業

- 18年3月に有料老人介護施設「すいとぴー東戸塚」を新たに開設
- 新設した施設の従業員採用および設備投資などの先行投資が発生

売上高 53,184百万円 (+13.3%)

- 期末在籍者数 12,444人 (+8.2%)
- 派遣先企業数 925社 (▲3.0%)

Point

- 良好な顧客企業業績
（外部環境）
- 重要顧客への技能社員の
集中投入
（1人当たり売上高上昇）

営業利益 1,796百万円 (+116.4%)

- 売上高営業利益率 3.4% (+1.6pt.)

Point

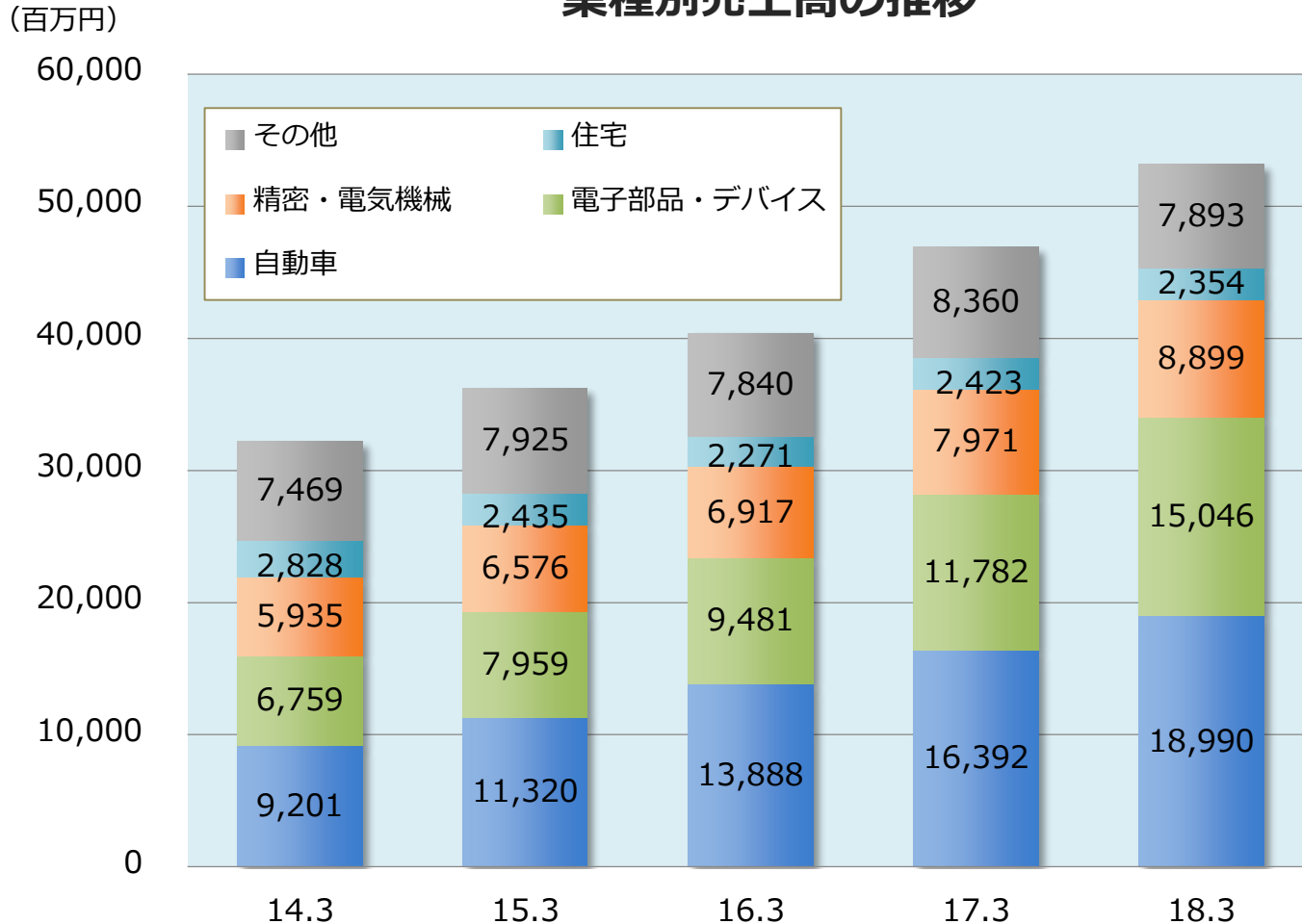
- 原価率は1.1pt.改善
- 販管費率は0.5pt.改善

当期純利益 1,000百万円 (+128.8%)

- 1株当たり利益 149.45円

自動車・電子デバイスメーカーからの需要旺盛により増収

業種別売上高の推移

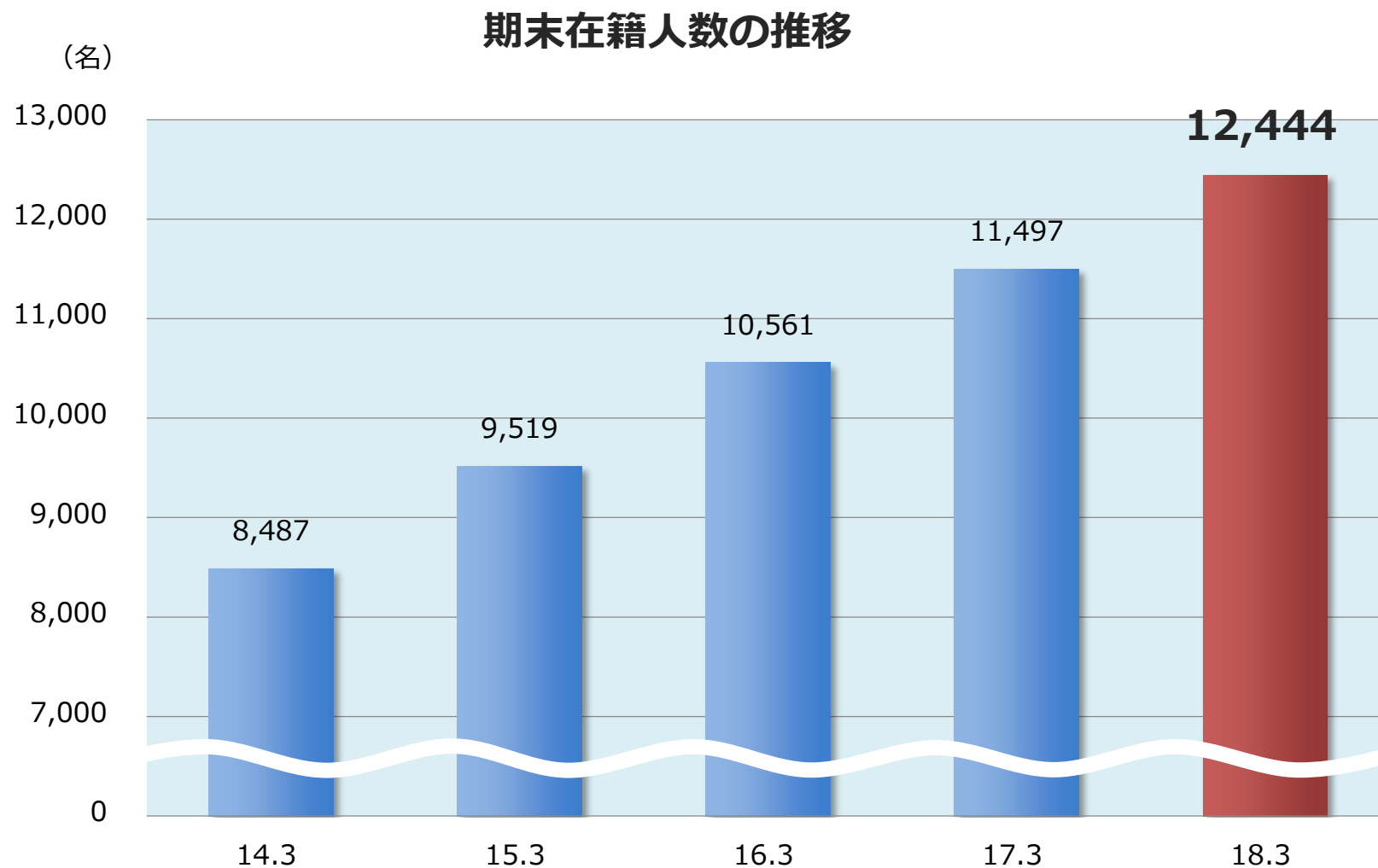


Point

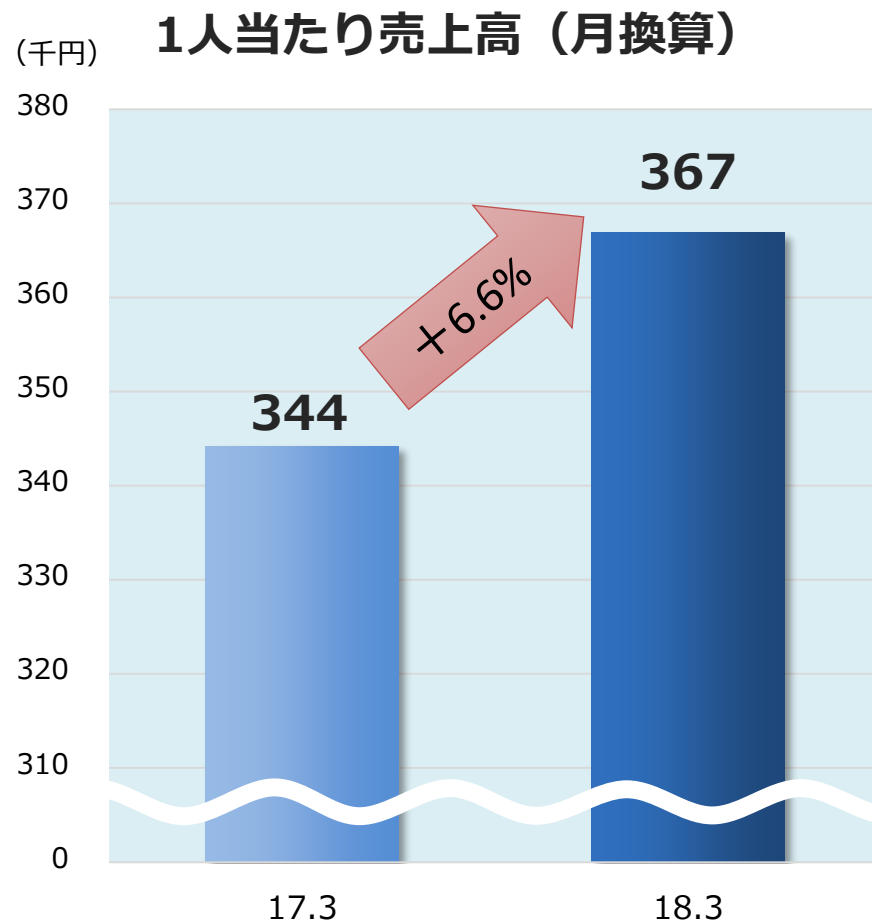
- 自動車
…前期比：+16%
- 電子部品・デバイス
…前期比：+28%

⇒重要顧客へのアカウント戦略が奏功

在籍数は順調に伸びている



1人あたり売上高が上昇



Point

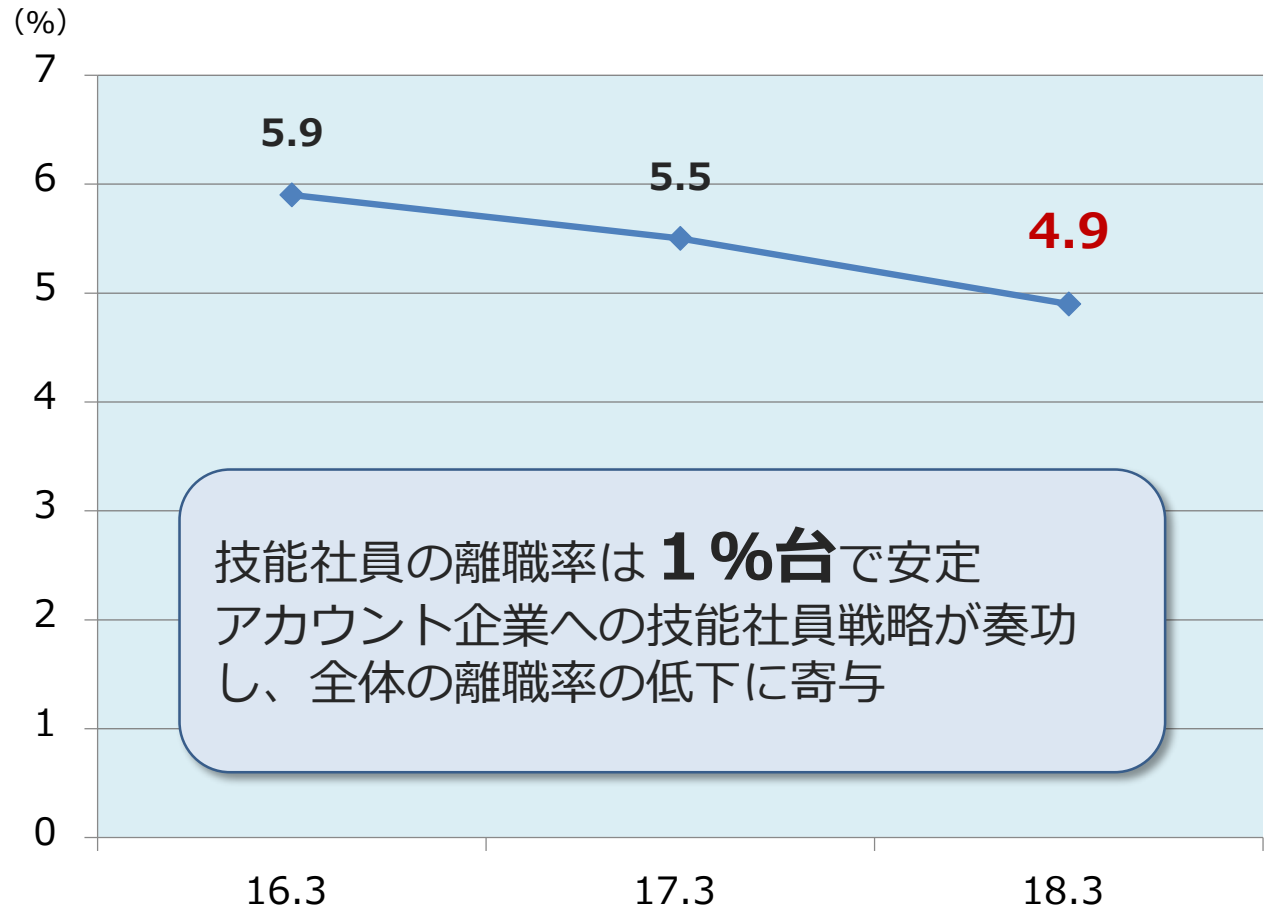
- 一人あたり売上高上昇
- 技能社員制度が評価されて単価が上昇
- 単価上昇分は、給与として積極的に還元

技能社員への転換促進で単価アップと離職率低減が進展

技能社員数



離職率



3月16日 東京証券取引所第一部に株式上場

公募株式数	1,150,000株
売出株式数 (OA含)	1,989,500株
上場後発行済株式数	7,889,500株
公募増資による手取調達額	約34億円

公募価格	3,250円
初値	4,020円
5/25株価	5,110円

調達により得た資金は、設備資金（教育設備、社内基幹システム、採用サイト等）、運転資金、長期借入金返済に充当の予定



■ 売上面では

アカウント戦略と技能社員の増加（19.3期末在籍数：4,000名）により**増収**の見込み

■ 営業利益面では

教育及び採用力強化への投資が先行すること、また、その他事業の新施設への投資が先行することが押し下げ要因とはなるものの、一人当たり売上高の向上及び運営基盤の強化による生産性の向上が寄与し、**増益**の見込み

（単位：百万円,%）

	18.3期実績		19.3期予想	
	金額	増減率	金額	増減率
売上高	59,208	+10.6	65,686	+10.9
営業利益	1,800	+109.3	2,099	+16.6
営業利益率 (%)	3.0%	+1.4pt.	3.2%	+0.2pt.
経常利益	1,781	+113.8	2,144	+20.4
経常利益率 (%)	3.0%	+1.4pt.	3.3%	+0.3pt.
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,014	+106.6	1,376	+35.7

当社は、株主に対する利益還元と企業価値の向上を経営の重要課題と位置付けており、成長投資のための資金の確保、並びに事業環境の変化に対応できる企業体質の強化とのバランスを考慮しつつ、株主の皆さまへ安定した利益還元を継続することを基本方針としております。

18.3期予定配当

42.0 円/株



19.3期配当

未定

本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。

今後の I R に関するお問い合わせ先

日総工産株式会社 I R 管理部

電話 : 045-514-4323

E-mail : ir@nisso.co.jp

URL : <http://www.nisso.co.jp>